

# 日本のがんの現状と コロナ禍での対がん活動

新たにかんと診断される人は毎年100万人前後にのぼります。  
コロナ禍において、新しいかたちの取り組みも始めています。

## ● 日本のがんの現状

1981年以来、がんはずっと、日本における死亡原因の1位です。全死亡者のおよそ3分の1はがんが死因となっています。人口の高齢化が主な要因となって、がんで亡くなる方は増えつづけています。

2019年がん死亡者数

# 37万6425人

男性 220,339人

女性 156,086人

